

## 知事と区市町村長との意見交換会(三鷹市)

令和2年10月12日(月)

14時30分～14時50分

○**行政部長** 本日はよろしくお願ひいたします。それでは、意見交換を始めさせていただきます。冒頭、知事からお願ひいたします。

○**知事** 今日はよろしくお願ひします。去年、三鷹のお祭りに伺ったのは何月でしたかね。

○**三鷹市長** よく覚えてますね。

○**知事** いえいえ、でも、もうあれから時がたって、1年たって、こんなに状況が変わって。

今日は、ウィズコロナの社会をいかにして生きていくのか、そしてまた構造改革を行うことと、今それを進めているところですけど、それを梃子として新しい日常、サステナブル・リカバリーという言葉をよく使っております、これをどうやって進めていくのか。また、オール東京で進めていく長期戦略のような幾つもの課題がある中で、今日は三鷹市の現状、課題、そしてまた長期に向けてのビジョン、何よりもコロナ、これについて直接伺うというものでございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

○**行政部長** それでは、河村市長、御発言をお願ひいたします。

○**三鷹市長** 改めまして、こんにちは。三鷹市長の河村孝です。

知事におかれましては、長期にわたる新型コロナウイルスとの闘いにおきまして、まさに先頭に立って頑張っておられました誠にありがとうございます。改めまして敬意を表させていただきます。

また、支えていらっしゃる副知事の皆さん、そして職員の皆さんにも心から感謝申し上げます。

それでは、三鷹市から、ただいま知事の小池さんの方から出されました点につきまして、3つほど現在、問題意識として持っていることをお話しさせていただきます。

まず第一点目は、ウィズコロナ、アフターコロナ、これを見据えました今後の市民サービスの根源になります財源の問題でございまして、これは常日頃からも言わせていただいておりますが、コロナ対策につきましては、特に先行きが見通せない状況の中で、基礎自治体である市町村が長期戦略でやっていくといっても、なかなか難しい点もございまして。既に各自治体におかれましては、頑張っておられる対応について臨時的な対応をするということで、基金とかを活用したり、あるいは、改めまして国や東京都の補助金を使ったりして、様々な工夫をして立ち向かっております。三鷹市も同様でございまして、基金の活用あるいは用地で未利用地を売却したりとか、様々な手法でもって緊急の対応にスピード感を持って対応したいということで、専決処分とかあるいは補正予算とかいう形で取り組ませていただいております。

もちろん来年度におきまして、そういった方向でしっかり予算等を見据えながら頑張っ

ていきたいというふうに思っておるわけでございます。しかし、何せ小池知事には先般御承知だと思いますが、リーマンショック以来のというか、それを超える大変な危機が訪れてきております。今後の対応策を進めていく上では、普通交付税の不交付団体である三鷹市には一定の限界があるということでございますので、御承知のように、東京都におかれましても市町村総合交付金あるいは振興基金による貸付の柔軟な対応等の財政的な面での減収補填を行えるようにしていただきたいということが一点目でございます。

二点目は、東京都と連携した新型コロナウイルス感染症対策ということでございます。様々な補助金等のメニューを活用いたしまして、三鷹市でも国や東京都の支援策を補完するような形で緊急対応方針を練っているところでございます。例えば、病院の緊急対応として、東京都さんもいろんなメニューをお持ちで、それで補えない部分を三鷹市で行ってるということで、例えば、病院における新しい重点医療機関として活用していくために、手を挙げるところが出てきてるわけです。そういうところを東京都さんのメニューに付け加えて、足りない部分を三鷹市が補う等のことをして、包括的に応援をしていくとか（※が現場では必要になっているわけです。例えば）、感染者が家族で出た場合に、もちろん陽性の場合には、当然児童相談所とか、あるいは保健所を通しての対応策になるわけですが、陽性でない場合があるんです。すぐに、濃厚接触者であってもまだ陰性であるという場合に面倒を見てくれる機関はないということで、三鷹市も公共施設を活用して、それをフォローする体制を組んでいる等のことをやっております。

ただ、御承知のように、多摩地域の場合には、保健所をお持ちの自治体というのは八王子と町田の2市だけでありまして、三鷹の場合には多摩府中保健所なんです。そこで面倒を見ていただくのは、本当に一生懸命やっただいてるんですが、何せ管轄の自治体が全部で人口100万人ぐらい。自治体数で6市ありますので、なかなかきめ細かく展開できないということがやはりあります。これは東京都さんの方でも当然問題意識としてあると思います。国でもそういう問題意識があると思いますが、こういう状況になりますと、やはり分割ネットワークといいますか、そこで国と東京都と、それから三鷹市などの基礎自治体の役割分担、そういうものをきちんと考えていく必要が今後出てくるだろうというふうに思っています。そういう意味で、どういう仕組みがいいか、今、国でも東京都さんでも一生懸命やられていますが、是非、少なくとも対象人口の分割というのは、やはりある程度必要になってくるのではないかとこのように思っています。そういう場合、三鷹市では駅前再開発とかいろいろありますから、是非私としては防災保健センターみたいなものを、もしも必要ならということになるかもしれませんが、そういう分割してネットワーク化する場合の拠点を三鷹市の方でも御用意してもいいというふうに思っております。是非そういうようなものを今後の協議課題として行っていただきたいというふうに思っているところでございます。

そして最後に、第三点目でございますが、新たな生活様式に対応したまちの創造についてでございます。コロナウイルス感染拡大によりまして、一極集中、その場合の脆弱性が顕在化いたしました。やはりリモートワークとかサテライトオフィス等のことを今後考

えていく場合に、三鷹市は現在、新都市生活創造域という、そういう位置づけに東京都さんの方ではされているのですが、まさに住宅地とそれから働く場所が近接して今後展開されてくる必要があるだろうというふうに思っております。つまり、今後の政策として、是非当該圏域内にそういったサテライトオフィス等をさらに一層誘致する取組をする場合には、是非三鷹市への御支援をお願いしたいということでもあります。先ほど申し上げましたが、駅前再開発等がございますので、是非その拠点としても意識していきたいというふうに思っています。よろしくお願いいたします。

以上3点でございます。もっとたくさんあるんですが、取りあえず絞らせていただきますので、よろしくお願いいたします。

○行政部長 どうもありがとうございました。それでは、知事からお願いいたします。

○知事 まず、私の方からコロナへの対策、それぞれの現場で本当に頑張っていたいでいるわけでありまして。感染症の対策推進のために各種、まずは情報の共有から始めねばなりません。そして解決に向けた方策などを、それをベースに検討するというところで、これまで週1回の週報で連絡などを行ってまいりましたけれども、これを今日からは平日、毎日情報の共有ということで、よりきめ細かにアップデートな情報を提供もさせていただく。そして、また地域の状況などを逆にこちらの方にも御連絡いただくことによって、お互いまずは情報共有ができると。さらに強化、これまでもやってまいりましたが、強化していくということでございます。

それから、保健所でありますけれども、2次保健医療圏で広域的、専門的、そして技術的な拠点として健康管理、そして市町村の支援を行わせていただいております。御承知のように、今おっしゃいましたように、非常に範囲が、面積も広い、人口も多いという中で、保健所の皆さんも本当に努力いただいております。

ちなみに、これまでコロナの陽性になった方々に病院入院、御自宅療養、それからホテルに入っていたりしていただいておりますけれども、ちょうど今日から、ペットがいるから病院に行けない、ペットがいるからホテルの宿泊療養ができないとおっしゃる方も、これまでも多かったのですが、犬と猫とウサギとハムスター、今日から、ちょっと遠いですが、日本財団さんの御協力を得て船の科学館で、ペットと一緒に療養できるという施設も確保させていただいて、そこまで専門の車で御移動いただく等々の手配をいたしております。市民の方で陽性になられて、そういうペットがおられるので動けないという方々のためにもそういう対応をさせていただいているというのをお伝えしておきたいと思っております。

これを、新型コロナウイルスの拡大の対応でそのようなことも取り組んでおります。また、都の保健所が行いますPCR検査の一部委託化を進めることによって、様々な業務のデジタル化の推進などで、保健所ももう本当に平時の体制と有事の体制と、かなり負担も大きく違ってくるところを、できるだけICTなども活用しながら、業務の効率化も図っているということでもあります。いろいろ今、お話もございましたが、感染拡大から終息に至るまで、保健所の取組について検証しまして、そして改めてその在り方などについて検討し

ていきたいと考えております。

また、多摩地域は、今回テレワークが一気に進んだ。また最近も、企業によって週休3日、4日というような、これまで私も働き方改革などでテレワークを推奨してきたわけですが、さらにそれが一気に進んで、特に多摩地域にお住まいの方々にとっては、働き方がかなりの部分で変化を見せている中で、多摩地域というのはそういう意味で、今、サテライトオフィスなどの整備なども進んでおります。今、まちの在り方なども、やはりウィズコロナ、ポストコロナなどの現状や、また、あるべき姿などを踏まえながら、どういうふうなまちづくりをしていき、どのような形でそれを都と市と連携するかなども新しい課題かと考えております。

今日は、たくさんある中で3つに絞られたということでもありますけど、これからはいろいろ連携する中で、オール東京で進める部分、また三鷹で進めていただく部分、それぞれ共に考えていきたいと、このように考えておるところです。

では、副知事の方から。

**○副知事** それでは、財政課題の方につきまして、私からお答えさせていただきたいと思っております。

コロナ対策は、感染拡大防止はもちろん重要でございますけども、地域経済の再建、こういったものも非常に重要と認識しております。三鷹市さんにおかれましては、市の緊急対応方針を定められまして、小規模事業者等への経営支援など、地域を支える取組を行ってこられてるということ承っております。都といたしましても、緊急対策として総額100億円の特別交付金を交付させていただくなど、市町村の財政支援に取り組んできたところでございますが、今後とも各者のまたいろんな状況もございますので、それぞれの状況を伺いながら、市の財政状況等を踏まえつつ、市町村総合交付金や振興基金の活用により、適切な支援に努めていきたいと思っております。引き続き、どうぞよろしく願いいたします。

**○行政部長** それでは、今のお話を受けまして、河村市長の方からいかがでしょうか。

**○三鷹市長** ペットも一緒に避難できるということで、大変有り難いと思っておりますが、やはり、私どもも始めたときには、あまり細かいことまで最初は配慮できなかった。まず、優先順位からいって、大きなところから、国のそういう臨時交付金とか、そういうところから始まった話であります。やはり、やっていくと少しずつ、そういうレアケースだと思ってたものが、結構地域の中では重要なことがある。ペットもその一例だと思っております。財源的に言いますと、自治体としては、是非地域ごとに結構特色がありますから、あるいはそのニーズもちょっとずつ違うかもしれない。ベーシックなところは国とか東京都さんで一律にさせていただくのは本当に有り難いことだと思っておりますし、そこでもって初めて見えてくるものもあると思っておりますよね。あまり独自性ばかり言っていると、こういう場合には広域的な対応ができなくなってしまいますから、私は、国とか東京都さんの方向性は大事だというふうに思っております。

その上で、やはりきめの細かい、もっともっと細かくなってくると、それは一括して結

構自由度の高い、そういう仕組みを是非お願いしたいというふうに思っているわけです。特にここ1年、2年は、経済的にも今、多羅尾副知事が言われたような大変重要な時期になってくるはずなんです。そういうアクセルとブレーキをきめ細かく地域の中で、右を踏んだり、左を踏んだりとかいうようなことでハンドルをグリップしていくことがすごく必要になってきます。そういう意味で、なるべく一括して自由度の高い、そういう財源的な仕組みを追求し、一緒に研究させていただけたらなというふうに思っているところでございます。

あと、本当に知事がいみじくも言ってくくださったようなテレワークとか、新しい働き方が、やはり今、何が正解か、まだ全部掴み切れているわけじゃありませんけれども、方向性としてはこうだろうなということが今、見えてきている、そういう際どい時期なんだというふうに思っています。そこで、生意気ですけれども、三鷹の再開発だとか、いろんなところで、うちだけじゃないと思いますけれども、そういうところに是非目配りをお願いしたいというふうなことでございます。

これも話し出すと切りがないのですが、この辺にしておきます。よろしく申し上げます。

○行政部長 どうもありがとうございます。それでは、最後に知事からお願いいたします。

○知事 今日は、まずは、わざわざお越しいただいております、ありがとうございます。このところずっとオンラインの会議で、直接お目にかかるっていうのがなかなかできなかったんですけども、これからはオンラインとリアルとハイブリッドでの生活であったり、大学などの教育の現場であったり、会議であったりということなんだろうと思います。ウィズコロナ、そしてまたポストコロナにらみながら、長期戦略をこの東京を切り拓くための羅針盤にしたいと考えておりますので、今日、今起こってることと将来の課題など伺わせていただきましたので、しっかり取り組んでいきたいと、このように考えております。何よりもコロナのこの危機を乗り越えて、そして持続的な発展に東京をつなげていきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。今日はありがとうございます。

○行政部長 それでは、以上で終了いたします。本日は、御多用のところありがとうございました。